

平成 27 年度 第 3 回 小平市文化財保護審議会 要録

日 時：平成 28 年 2 月 29 日（月）午後 1 時 30 分～4 時

場 所：市役所 501 会議室

出席者：委員 9 名

事務局 3 名

傍聴者：なし

<議 事>

1 会長挨拶

2 報告事項

文化スポーツ課報告

(1) 文化財防火デーの実施結果について

→ 委員より特に意見なし

(2) 第 28 回郷土誌フェアの実施結果について

→ 委員より特に意見なし

(3) 市指定有形文化財「旧鈴木家住宅穀櫃」の屋根葺替工事の完了報告について

【委 員】 竣工状況写真を見る限り、居宅でもない穀櫃の屋根としては、仕上がりが立派過ぎるように感じる。

【委 員】 茅葺屋根職人には、仕事を引き受けられる縄張りがあり、集団によって屋根の棟の形状に違いがある。小平は系統不明だが、府中・調布あたりは、会津職人の縄張りだと伝わっている。

【委 員】 茅も当時は地元産のものを使用して拭き替えていたと思うが、今回はどのように調達したのか。

【委 員】 今回は御殿場の茅を使用したと聞いている。確かに、地元産の茅を使用した方が望ましいが、現在市域及びその周辺に茅場が無い以上、地元産の茅を調達することは不可能なため、やむをえないと思う。

(4) 鈴木遺跡特別展「見えてきた鈴木遺跡の姿」開催について

→ 委員より特に意見なし

(5) 文化財講演会「鈴木遺跡と日本の旧石器時代研究」の開催について

→ 委員より特に意見なし

(6) 文化財説明板等更新事業について

【委員】 看板更新にあたり、看板一つ一つを個別に更新しても点的な更新である。小平市の昔と今をつなぐような工夫があるとよいと思う。たとえば、看板に小平村絵図写真を載せたりするのであれば、絵図上に現在の位置が分かるような図示があるとよいのではないか。

(7) 鈴木遺跡総括報告書作成事業の進捗について

【委員】 遺跡の現状は、宅地開発も進んでおり、歩いてみても遺跡が存在することを認識しづらい。整備にあたっては、一般市民にわかりやすい、臨場感のあるような計画を策定し、事業推進していくことが大事である。そのため、今後市は市民に対し、鈴木遺跡の重要性の周知をしっかりと行って欲しい。

【会長】 一過性の観光事業整備では消化不良に陥る例が散見されるので、その点市として注意しながら事業推進してほしい。

(8) 鈴木遺跡保存管理等用地整備事業の進捗について

→ 委員より特に意見なし

3 議題

「高橋定右衛門墓」の文化財指定に関する小平市教育委員会からの諮問について

【委員】 これまで何度も審議してきており、高橋定右衛門墓は小平市における御門訴事件の証拠として重要であることは十分確認できている。そのため、審議会としては、「市史跡に指定することが望ましい」という方針で教育委員会に答申を出すべきと考える。

【委員全員】 賛成である。